

2023 年度

生産性向上に向けた従業員教育のための

在職者訓練コースガイド

2023 年 4 月～ 2024 年 3 月



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構兵庫支部

港湾短大神戸校

(港湾職業能力開発短期大学校神戸校)



2023年度版 在職者訓練コースガイド

● お申込みからご受講までの流れ	1
● コース一覧	2～3
● 生産管理・物流管理コース	4～8
● 電気電子・回路設計コース	8～9
● 機械設計・機械加工・機械保全コース	9～11
● ご利用者の声	12
● オーダーメイドコースのご案内	13
● 施設・設備のご利用について	14
● 生産性向上支援訓練のご案内	15
● 生産性向上支援訓練コースリスト	16
● ミドルシニアコースのご案内	17
● 事業主推薦制度のご案内	18
● 新型コロナウイルス感染症対策実施中	19
● 会場ご案内 港湾短大神戸校 (港湾職業能力開発短期大学校 神戸校)	20
● 在職者訓練受講者変更・キャンセル届	21
● 在職者訓練受講申込書	裏表紙

お申込みからご受講までの流れ



①お申込み

(FAX または E-mail)

本誌裏表紙の『在職者訓練受講申込書』に必要事項をご明記の上、当校へFAXまたはE-mailでお申込みください。なお、『在職者訓練受講申込書』は当校ホームページよりダウンロードもできます。
※当校ホームページにExcel版、Word版の『在職者訓練受講申込書』がございますのでご利用ください。

②ご回答

受講可否につきましては、『在職者訓練受講申込書』にご記入いただきました連絡先へFAX等にてご回答をお送りします。

キャンセル待ちについて

「キャンセル待ち」となった方には定員に空きが出次第、電話またはFAX等にてご連絡をします。開始日までに連絡がない場合は、定員に空きが出なかったものとしてご了承ください。

③受講案内の送付

開始日3週間前

コース開始日の原則21日前までに郵送いたします。(開始日の10日前までにお手元に届かない場合は、お手数ですが当校までご連絡ください) 受講案内には、**受講票、請求書等**が同封されています。

※受講者を変更したい場合、同一の企業・団体内での申込みであれば、変更が可能です。この場合は、必ず電話連絡の上、p21『在職者訓練受講者変更・キャンセル届』にご記入の上、FAXでご連絡ください。

キャンセルについて

必ず**開始日の14日前(土日祝日を含む)までに**電話連絡の上、p21『在職者訓練受講者変更・キャンセル届』にご記入の上、FAXでご連絡ください。**14日を過ぎたキャンセルにつきましては、受講料を全額ご負担いただけますが、**後日コースで使用したテキストを送付いたします。

コースの中止について

定員に対し、コース開始日原則**14日前までに著しく受講者が少ない場合、コースを中止する**場合があります。中止の際はこちらから電話またはFAX等にてご連絡をいたします。

④ご入金

開始日2週間前

原則、**開始日14日前(土日祝日を含む)までに**ご入金をお願いします。受講料は、消費税込みです。なお、振込手数料は別途ご負担ください。

コースをキャンセルされる場合は必ず14日前までにご連絡をお願いいたします(左記「キャンセルについて」参照)。

※現金でのお支払いは受付けておりません。

⑤セミナー当日

在職者訓練コースガイドに明記されている持ち物をお持ちになり、お越しください。玄関ホールの案内板等にてコースの開催場所をご覧の上、会場をご確認ください。会場はコース開始時間の30分前から開いております。

なお、講師は原則、当校の指導員となりますが、一部外部講師が担当いたします。詳細につきましてはお問い合わせください。

アンケートのご協力について

全てのコースについて、受講者及びその事業主の方に対し、コース内容に関する満足度等についてのアンケート調査の回答をお願いしております。なお一部のコースにつきましては、後日、コース内容の活用状況についても同様をお願いしております。ご協力のほど、お願いします。

注意事項

下記の方の受講申込をお断りすることがございます。

- ・頻繁にキャンセルされる個人、事業所等
- ・キャンセルのご連絡をいただけない個人、事業所等
- ・受講に際し、受講態度に何らかの問題があった個人、事業所等

お 申 込 先

港湾短大神戸校(港湾職業能力開発短期大学校神戸校) 〒650-0045 神戸市中央区港島8-11-4

FAX 078-303-7335

(個人情報をお送りいただくので、送信先相違のないようご注意ください。)

ホームページ:

港湾短大神戸校

検索



コース一覧

分類	コース番号	コース名	頁	日数	実施時間	定員	受講料
生産管理・物流管理コース	C111	在庫管理システムの管理精度維持と進め方	4	2日間	9:30～16:30	15名	8,000円
	C121	ガントリークレーン技術と災害防止対策	4	2日間	9:30～16:30	10名	7,500円
	C131	ロジスティクス・システムの設計と演習	5	2日間	9:30～16:30	15名	8,000円
	C141	国際コンテナ輸送の実務と効率化	5	2日間	9:30～16:30	10名	9,000円
	C151	実践貿易実務	6	2日間	9:30～16:30	20名	5,000円
	C152		6	2日間	9:30～16:30	20名	5,000円
	C161	実践貿易実務（書類作成編）	6	2日間	9:30～16:30	15名	5,000円
	C171	物流ABC（活動基準原価計算）による倉庫管理	7	2日間	9:30～16:30	15名	5,000円
	C211	港湾荷役技能者・技術者のための安全衛生	7	2日間	9:30～16:30	10名	7,000円
	C221	港湾運送業におけるドローンを活用した安全衛生管理	8	2日間	9:30～16:30	10名	13,000円
C222	8		2日間	9:30～16:30	10名	13,000円	
回路設計コース 電気電子・	C311	製造現場におけるLAN活用技術（サーバ編）	8	2日間	9:30～16:30	10名	7,000円
	C312		8	2日間	9:30～16:30	10名	7,000円
	C321	有接点シーケンス制御の実践技術	9	2日間	9:30～16:30	10名	13,000円
機械設計・機械加工・ 機械保全コース	C411	生産現場の機械保全技術（潤滑と機械要素）	9	2日間	9:30～16:30	10名	8,000円
	C421	治具設計の勘どころ	10	2日間	9:30～16:30	10名	9,000円
	C431	精密測定技術（長さ測定編）	10	2日間	9:30～16:30	10名	9,000円
	C441	実践機械製図（スケッチ製図と寸法・公差の入れ方）	11	3日間	9:30～16:30	10名	9,500円

※新型コロナウイルス感染症予防のため定員の変更が生じる場合がございますのでご了承ください。

実 施 日												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
							20(月) 21(火)					
				3(木) 4(金)								
						17(火) 18(水)						
										28(水) 29(木)		
					28(木) 29(金)							
											14(木) 15(金)	
						31(火)	1(水)					
									23(火) 24(水)			
			25(火) 26(水)									
				1(火) 2(水)								
											14(木) 15(金)	
				2(水) 3(木)								
						4(水) 5(木)						
								13(水) 14(木)				
						17(火) 18(水)						
					27(水) 28(木)							
		14(水) 15(木)										
				29(火) ~31(木)								

コース番号

C111

実施日

2023/11/20,21

生産管理・物流管理コース

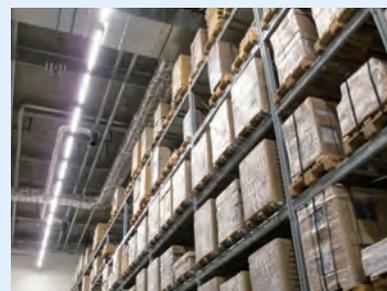
在庫管理システムの管理精度維持と進め方

訓練の目標

在庫管理の生産性の向上をめざして、最適化(改善)に向けた在庫管理システムの構築を通して、正しい在庫管理業務の意義と役割を認識し、在庫管理システムを機能させるために在庫管理精度を維持する方法や生産管理システムの計画情報との連動方法について習得します。

訓練内容

1. 企業における在庫政策
 - ・企業の業態に伴う在庫政策の違いほか
2. 在庫管理業務と管理システム
 - ・在庫管理の各業務と、管理システム機能ほか
3. 在庫管理システム事例
4. 在庫管理システム運営手法 (グループ学習)



受講料：8,000円 定員：15

持参品：筆記用具・自社在庫管理事例または管理システム事例

使用機器・使用ソフト：パソコン、プロジェクター、表計算ソフト

コース番号

C121

実施日

2023/8/3,4

生産管理・物流管理コース

ガントリークレーン技術と災害防止対策

訓練の目標

港湾荷役の現場力の強化及び安全衛生のノウハウの継承をめざし、ガントリークレーンシミュレータ操作を通して海上コンテナ荷役技術、問題解決や災害防止のための技術・技能を習得します。

訓練内容

1. ガントリークレーンの取扱い
 - ・構造・動作、取扱方法ほか
2. ガントリークレーンの安全衛生
 - ・災害事例、災害防止対策の概要、災害防止対策の事例ほか
3. ガントリークレーン操作技術
 - ・準備操作、平時の荷役操作、悪天候での荷役操作、夜間・濃霧時の荷役操作、複合的な状況ほか、技能判定



受講対象者

海上コンテナの荷役業務に従事する技能・技術者等であって、これからガントリークレーンに従事する者、安全衛生に配慮し操作技術を高めたい者

受講料：7,500円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：ガントリークレーンシミュレーター

コース番号

生産管理・物流管理コース

C131

実施日

2023/10/17,18

ロジスティクス・システムの設計と演習

訓練の目標

原価管理/在庫管理における生産性の向上をめざして、効率化、最適化(改善)に向けたロジスティクス・システムに係るプロセスやコスト管理実習を通して、コスト・マネジメントの見地からロジスティクスを理解し、調達から生産、物流にいたるプロセスのロジスティクス・コストの最小化が実現できる手法を習得します。

訓練内容

1. ロジスティクスシステム
 - ・経営戦略、企業課題、ロジスティクスほか
2. ワークデザイン
 - ・リードタイム、在庫政策、ロジスティクスコスト
3. ロジスティクス・プロセスの設計
 - ・業務フロー図、ものと情報の流れ図ほか
4. ロジスティクスシステムの設計と演習 (グループ学習)



受講料：8,000 円 定員：15

持参品：筆記用具・対象としたい荷主業務に関する業務フロー図

使用機器・使用ソフト：パソコン、プロジェクター、表計算ソフト

コース番号

生産管理・物流管理コース

C141

実施日

2024/2/28,29

国際コンテナ輸送の実務と効率化

訓練の目標

国際輸送の生産性の向上をめざして効率化・安全性向上に向けた海上コンテナの物流行程におけるトラブル対処演習を通して、国際ルールに沿った諸手続き及びコンテナ輸送を理解し、バンニングプランの立案・管理、貨物輸送のセキュリティなどの管理手法の技術・技能を習得します。

訓練内容

1. コンテナリゼーションの概要
 - ・コンテナの規格と種類ほか
2. 特殊貨物のコンテナ輸送
 - ・危険物のコンテナ輸送ほか
3. コンテナ輸送と国際的ルール
 - ・国際コンテナ輸送に係る国際条約ほか
4. コンテナ輸送と税関手続き
 - ・国際コンテナ輸送に係る国際通関条約ほか
5. コンテナの船積み
 - ・バンニング / デバンニングほか
6. コンテナのセキュリティ
 - ・24 時間ルールほか
7. まとめと質疑応答

受講対象者

メーカー又は流通業において国際輸送業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

受講料：9,000 円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン、プロジェクター

コース番号

C151

実施日

2023/9/28,29

コース番号

C152

実施日

2024/3/14,15

生産管理・物流管理コース

実践貿易実務

訓練の目標

海貨業や国際物流業、輸出入を行う製造業において、貿易業務に携わって年数の浅い方を対象に、貿易の流れや貿易取引固有の業務について、基盤となる知識を習得します。

訓練内容

1. 貿易実務概要
2. 売買契約と代金決済
3. 貨物海上保険、貿易保険
4. インコタームズ
5. 貿易書類
6. まとめ



受講料：5,000 円 定員：20

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン、プロジェクター

コース番号

C161

実施日

2023/10/31,11/1

生産管理・物流管理コース

実践貿易実務（書類作成編）

訓練の目標

海貨業や国際物流業、輸出入を行う製造業において、貿易業務に携わって年数の浅い方を対象に、貿易の流れや貿易取引固有の業務について、基盤となる知識を習得します。

訓練内容

1. 貿易実務概要
2. 貿易取引の設計
3. 貿易書類演習
4. まとめ

受講対象者

「実践貿易実務」コースを受講された方、もしくは同等の知識のある方

受講料：5,000 円 定員：15

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン、プロジェクター

コース番号

生産管理・物流管理コース

C171

実施日

2024/1/23,24

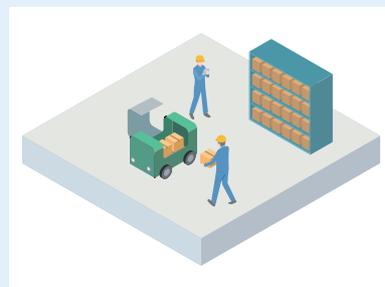
物流 ABC(活動基準原価計算)による倉庫管理

訓練の目標

原価管理／在庫管理の生産性の向上をめざして、物流作業の効率化、適正化、最適化(改善)に向けた物流ABCによる物流活動コストの把握及び無駄削減の理解を通して、物流データの分析手法及びコスト管理手法を習得します。

訓練内容

1. 物流ABC概要
2. 物流ABCの目的
3. 物流ABCの原理
4. コスト管理
5. 事例研究
6. まとめ



受講料：5,000円 定員：15

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン、プロジェクター

コース番号

生産管理・物流管理コース

C211

実施日

2023/7/25,26

港湾荷役技能者・技術者のための安全衛生

訓練の目標

港湾荷役における安全管理の現場力強化をめざして、技能高度化に向けた作業特性やヒューマンエラーの発生のメカニズムを理解し、リスクアセスメント現場演習及び危険予知・体験実習を通して、エラー低減に必要な防止策を策定する能力を習得します。

訓練内容

1. 労働安全衛生の意義
2. 労働安全衛生法と他の法律
3. 労働災害の発生状況
4. 港湾における労働災害事例から学ぶ
5. ヒューマンエラーを理解する
6. 労働災害要因分析(グループワーク)
7. リスクアセスメント(グループワーク)

受講対象者

港湾荷役作業に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

受講料：7,000円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：—

コース番号

C221

実施日

2023/8/1,2

コース番号

C222

実施日

2024/3/14,15

生産管理・物流管理コース

NEW

港湾運送業におけるドローンを活用した安全衛生管理

訓練の目標

港湾地域についてドローンを飛ばすことを前提に、飛行に関する法律・ルールの知識や、許可申請の方法などを習得します。またドローンの機体を用いて実際に操縦を行います。最後にドローンを用いた港湾現場での活用などを紹介します。

訓練内容

1. ドローンの基礎知識
2. ドローンの活用とコスト
3. ドローンに関する法律・ルール（法改正を含む）
4. ドローンの許可申請
5. ドローンの飛行実習
 - (1) 操縦時の注意点 (2) 整備・点検 (3) 操縦
6. ドローン技術を用いた安全衛生管理
7. まとめ・質疑応答

※ドローンの飛行実習については屋内で行います。

受講対象者

港湾現場においてドローンの活用を考えている方

受講料：13,000円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：ドローン

コース番号

C311

実施日

2023/8/2,3

コース番号

C312

実施日

2023/10/4,5

電気電子・回路設計コース

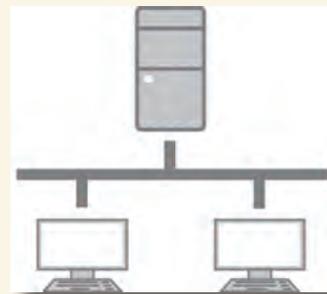
製造現場における LAN 活用技術 (サーバ編)

訓練の目標

製造業等の中小企業においてLANを活用し、作業の効率化・生産性の向上をめざして、LANに関する知識とLAN構築に関する技術を習得します。

訓練内容

1. ネットワーク概要
 - (ネットワークの概要とプロトコル、ネットワークの種類と構成ほか)
2. プロトコルの概要と設定
 - (Ethernet プロトコル、TCP/IP プロトコルほか)
3. ネットワーク機器の役割
 - (ハブ、ルータ、スイッチ)
4. サーバ OS の初期設定
5. LAN 構築実習
 - (情報の一元管理、共有、転送)



受講対象者

パソコンの基本操作と基礎知識を習得している方

受講料：7,000円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン、VirtualBox、Windows Server

コース番号

C321

実施日

2023/12/13,14

電気電子・回路設計コース

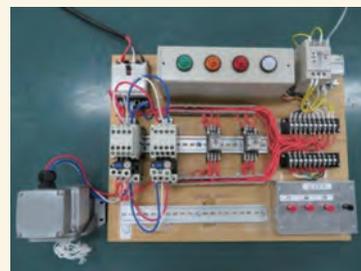
有接点シーケンス制御の実践技術

訓練の目標

有接点シーケンス制御の制御機器の種類と機能を理解し、電動機制御回路の配線作業を通して、制御盤組立の実務能力を習得します。

訓練内容

1. シーケンス制御の概要
2. 制御機器の種類と機能
(電磁接触器、電磁継電器、サーマルリレー、スイッチ、その他制御機器)
3. 主回路と制御回路
(回路図の読み方、機器の配置と接続方法)
4. 配線作業
(自己保持回路、インターロック回路、限時運転回路、可逆運転回路)



受講対象者

シーケンス制御設計に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

受講料：13,000 円 定員：10 持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：配線用遮断器、電磁接触器、電磁継電器、サーマルリレー、スイッチ、ランプ、電動機、テスタ、工具一式

コース番号

C411

実施日

2023/10/17,18

機械設計・機械加工・機械保全コース

生産現場の機械保全技術（潤滑と機械要素）

訓練の目標

機械保全の現場力強化をめざして、技能高度化、故障対応、予防に向けた潤滑剤の性状と油空圧機器・機械要素の保全を通して、機械を構成する部品の損傷及びトラブルの原因を理解し、機械装置のトラブルを未然に防ぐための設備診断・保全に関する技能と技術を習得します。

訓練内容

1. 機械保全全般
2. 潤滑剤の種類
3. 潤滑剤の役割と性状
4. 潤滑剤の粘度と添加剤
5. 油圧作動油
6. 空気圧機器の潤滑
7. 軸受の潤滑
8. 歯車の潤滑
9. シール（密封装置）



受講対象者

生産現場の機械保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

受講料：8,000 円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：—

コース番号

機械設計・機械加工・機械保全コース

C421

実施日

2023/9/27,28

治具設計の勘どころ

訓練の目標

治具設計の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防保全、技能継承に向けた設計時の問題点(①ワークの位置決め箇所、②クランプ位置、③クランプ力、④治具の扱い及び作業性、⑤材料・精度・コストなど)の回避方法などを含め、治具における設計手法とポイントを習得します。

訓練内容

1. 治具総論
 - ①治具の目的、②治具の基本要素
 - ③治具による位置決め
 - ④治具におけるクランプの原則と条件
2. 治具設計の要点
 - ①製品精度と治具精度
 - ②位置決め精度と公差
 - ③クランプ力と製品精度
3. 治具設計実習
 - ①治具設計演習
4. まとめ、質疑応答



受講対象者

生産設備の設計・開発及び自動化システムに従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

受講料：9,000円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：—

コース番号

機械設計・機械加工・機械保全コース

C431

実施日

2023/6/14,15

精密測定技術（長さ測定編）

訓練の目標

機械・精密測定／機械検査の生産性向上をめざして、長さ寸法測定の適正化に向けた測定実習を通して、精密で信頼性の高い測定を行うための理論を学び、測定器の定期検査方法を含めた正しい取り扱いと、測定方法、データ活用、誤差要因とその対処に必要な技能・技術を習得します。

訓練内容

1. 測定の概要
 - ・測定量と測定値、単位
 - ・測定と計測、検査
 - ・公差と精度、測定誤差
 - ・トレーサビリティ
 - ・測定の不確かさ
2. 測定実習
 - ・測定器の精度と特性
 - ・器差、アッペの原理
 - ・直接測定と間接測定
 - ・ノギスによる測定
 - ・マイクロメータによる測定
 - ・ダイヤルゲージによる測定
 - ・ブロックゲージ



受講対象者

機械加工作業及び測定・検査業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

受講料：9,000円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、ブロックゲージほか

コース番号

C441

実施日

2023/8/29,30,31

機械設計・機械加工・機械保全コース

実践機械製図（スケッチ製図と寸法・公差の入れ方）

訓練の目標

スケッチ製図を通して機械製図の本質を学びます。また部品図（加工図）の描き方、寸法の入れ方、新JISに対応した公差の入れ方等を習得します。

訓練内容

1. 機械製図法を学ぶ目的
2. 計画図と部品図の製図法
3. スケッチ製図実習
4. 加工法と寸法の入れ方
5. 機能と公差の入れ方
6. 総合実習

受講対象者

機械設計関連の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

受講料：**9,500 円** 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：—



コース名	ご利用者の声
在庫管理システムの 管理精度維持と進め方	<ul style="list-style-type: none"> ◆在庫についての知識や「ロジステックとは何か」の知識が深まりました。(受講者様) ◆担当業務以外の改善方法等を学ぶことができました。(受講者様)
実践貿易実務	<ul style="list-style-type: none"> ◆貿易の全体的な流れを理解することができ、仕事の実務とのつながりを把握することができました。(受講者様) ◆製品の輸出入に関わるがあるので、知識が身につきました。(受講者様) ◆少し曖昧だった部分がきちんと言語化して説明できるよう理解ができました。(受講者様) ◆知識が向上したことで、業務がスムーズになりました。(事業主様)
実践貿易実務 (書類作成編)	<ul style="list-style-type: none"> ◆実務として必要な部分についての補足的理解が得られました。(受講者様) ◆仕事で貿易関係の事務処理をしていますが、専門ではなかったため中途半端な感じでやっていましたが、今回のセミナーで専門用語等理解することができ、大変役に立ちました。(受講者様) ◆書類の読み方について不明な部分に関する知識を得られました。(受講者様)
港湾荷役技能者・技術者のための 安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> ◆これまでも問題を解決してきましたが、新しく学んだ技能・技術で時間短縮できます。(受講者様) ◆特定要因図やリスクアセスメントの基本手法を学ぶことができスキルアップとなりました。(受講者様)
製造現場における LAN 活用技術 (サーバ編)	<ul style="list-style-type: none"> ◆なんとなくで理解していた知識をしっかりと教えていただいたので理解が深まりました。(受講者様) ◆知識を習得する機会を得られ、教育不足となりうる項目を学ぶことができました。(事業主様) ◆LANに関するトラブルが起きた場合の対応者を専任することができました。(事業主様)
有接点シーケンス制御の実践技術	<ul style="list-style-type: none"> ◆保全業務を行っていますので、トラブル時や設備修繕時に役立つ知識を得ることができました。(受講者様) ◆口頭や独学で学んだ事を基礎から復習・整理することが出来ました。(受講者様) ◆普段やっていた作業の意味を考え問題の解決策を考えられるようになりました。(受講者様)
生産現場の機械保全技術 (潤滑と機械要素)	<ul style="list-style-type: none"> ◆未知の分野、既知分野共に掘り下げて知識が深まりました。(受講者様) ◆今回の研修で潤滑についての原理・原則を学ぶことができました。(受講者様) ◆オイル、グリスの選定時に役立てることが出来ます。(受講者様)
精密測定技術 (長さ測定編)	<ul style="list-style-type: none"> ◆今回受講した内容を同僚や部下に伝え、知識を深めることに活用できます。(受講者様) ◆精密加工の業務ではありませんが、寸法における考え方や測定方法など今後の業務に役立つと思えました。(受講者様) ◆測定器の事前準備や正確な測定方法を学び検査時の測定誤差の軽減に役立ちました。(事業主様)

港湾短大神戸校では貴社のニーズ(内容・日程・時間・場所等)に合わせたオーダーメイドコースを実施しています。また、本冊子に掲載しているコースは原則オーダーメイドコースとして計画できます。(ただし、計画できないコースもございますので、予めご了承ください。)



■オーダーメイドコースのメリット

- ◎ご希望の日程をご相談の上、コースの設定ができます。
- ◎事業主・事業主団体の皆様のニーズに対応した、効果的な人材育成が可能となります。
- ◎講師、機器、研修会場等の心配がありません。

■オーダーメイドコース計画のポイント

- ◎会場は原則当校となりますが、別会場での実施を希望される場合はご相談ください。
- ◎定員は原則10名となりますが、**10名未満**の場合でも、**まずご相談ください。**
- ◎1コースの訓練時間は12時間以上です。(実施日、時間帯等の調整は可能です。)
- ◎受講料は、諸経費を含めてお一人様単位でご提示します。
(受講料は、本冊子に掲載している料金を参考にしてください。なお、振込手数料は、別途ご負担ください。)
※内容・日程等により、実施できない場合もございますのでご了承ください。

■ご相談から実施までの流れ

- 1) お電話等いただければ、当校職員が貴社のニーズをお伺いしたうえで、オーダーメイドコースのカリキュラムを提案させていただきます。
- 2) 内容、実施日程、人数等が決まれば、経費(見積り)をご提案します。
- 3) お客様のご理解がいただければ、実施となります。

ご利用にあたり、
お気軽に
お問い合わせ
ください。

公開中の
在職者訓練では
日程が合わない



自社の実情や
目的に合った
研修を
実施したい



自社では講師や
機器・場所が
不足している



■オーダーメイドコースの例

分類	コース名	内容
教育・安全	港湾荷役技能者・技術者のための安全衛生	港湾荷役における安全管理の現場力強化をめざして、技能高度化に向けた作業特性やヒューマンエラーの発生のメカニズムを理解し、リスクアセスメント現場演習及び危険予知・体験実習を通して、エラー低減に必要な防止策を策定する能力を習得します。

・上記以外に本冊子に掲載しているコースは原則オーダーメイドコースとして計画できます。(ただし、計画できないコースもございますので、予めご了承ください。)
・お一人様の受講料(税込)は、教材及び当校が定める諸経費を含めてご提示します。

受講者の声 (港湾荷役技能者・技術者のための安全衛生)

- ・今回習ったことを部下に伝達し展開したいです。
- ・これまでも問題を解決してきましたが、新しく学んだ技能・技術で時間短縮できます。
- ・特定要因図やリスクアセスメントの手法を学ぶことができスキルアップになりました。
- ・特定要因図は知っていましたが、作成知識がありませんでしたので勉強になりました。
- ・知識を身につけることによって、行動が広がると思いました。
- ・過去に学んだ事はありますが、活かせていませんでした。今回、再認識し活用しようと思います。

施設・設備のご利用について



大教室



クレーン実習場



自動車等運転実習場

事業主や事業主団体の皆様が職業能力開発や人材育成を目的とした従業員教育や研修を実施される場合、教室などの施設及び実習場の設備・機器などが有料にてご利用いただけます。(当校が使用していない場合に、あらかじめ決められた教室や実習場等のみご利用いただけます。)

■ご利用いただける施設・設備

施設・設備名称	使用料(1時間あたり)			備 考
	7～9月	12～3月	それ以外の期間	
大教室	350円/1H	300円/1H	50円/1H	収容人員 60 名(視聴覚機器有)
会議室	200円/1H	200円/1H	50円/1H	収容人員 24 名
クレーン実習場	550円/1H	550円/1H	200円/1H	
天井クレーン	600円/1H			クラブトロリー式 (運転室能力：定格荷重5t、スパン14m)
ホイローダ	1,400円/1H			小松製、TCM 製
視聴覚機器 (OHP 等)	50円/1H			
自動車等運転実習場	7,000円/1H			個人への貸出しは、行っておりません。

※使用料は変更になる場合もありますのでご了承ください。

■お申込み方法

1. ご利用を希望される場合は、事前に予約状況等についてお電話にてご確認ください。
2. 所定の様式(施設設備使用申請書)に必要な事項をご記入の上、お申込みください。『施設設備使用申請書』は当校のホームページからダウンロードできます。(港湾短大神戸校 HP→事業主・企業の方へ→施設・設備等の貸出)
3. お申込み後、内容等を確認の上、文書(「施設設備使用承諾通知・請求書」等)をお送りします。使用料はご使用日の一週間前までに当校指定の銀行口座にお振込みください。

■ご利用時間

平 日 9:00～17:00 土日祝日 9:00～17:00

(土日祝日のご利用には、警備員の配置が必要となるため別途料金が必要となります。)

■キャンセル

お申込みを取り消される場合は速やかにご連絡ください。(使用1週間前までのキャンセルについては返金いたします。それ以後のキャンセルについては返金は致しかねます。)

■その他

ご使用の際の準備・後片付け・清掃等は会場責任者の方が責任を持って行ってください。状況によっては以後のご使用をお断りする場合がありますのでご注意ください。なお、当校に起因するものを除き、使用中の事故、トラブルについては一切責任を負いませんのでご注意ください。(使用上の注意については「施設設備使用承諾通知書」に記載してあります。)

※新型コロナウイルス感染症予防のため感染症予防対策(収容人数の縮小、換気、消毒等)のご協力をお願いすることがございますのでご了承ください。

生産性向上支援訓練のご案内

～人材育成を通じて企業の皆様の「生産性向上」を支援しています～

生産性向上支援訓練とは企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

訓練カリキュラム

・役割の変化への対応を学ばせたい
・ベテラン層に指導手法を学ばせたい
・ベテラン層のOJTスキルを向上させたい

・顧客満足度を向上したい
・消費者動向を営業に反映したい
・ネットを活用した販売促進をしたい

・従業員の業務効率化を図りたい
・リスク低減法を学びたい
・個人ノウハウを見える化したい

・現場の課題を見つけ、改善法を学びたい
・RPAを導入したい
・テレワークによる業務効率化をしたい

・データ集計を効率化したい
・マクロを使って自動化したい
・集客に繋がるHPを作成したい

- 生産・業務プロセスの改善
 - ・生産現場の問題解決
 - ・RPA活用
 - ・テレワークを活用した業務効率化 など
- 組織マネジメント
 - ・組織力強化のための管理
 - ・業務効率向上のための時間管理 など
- 売上増加
 - ・マーケティング思考の営業活動の分析と改善
 - ・提案型営業手法・実践 など
- 生涯キャリア形成
 - ・後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
 - ・効率的なOJTを実施するための指導法 など
- IT業務改善
 - ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
 - ・集客につなげるホームページ作成 など

生産性向上支援訓練で課題を解決!

生産性向上支援訓練のポイント

企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得

- ・生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意(全125コース('22.1月現在))
- ・企業ごとの課題やニーズに応じてカリキュラムをカスタマイズして実施

企業の課題に応じたオーダーメイド型訓練

- ・訓練は自社会議室で受講可能(※6人以上)(専門の講師を企業に派遣します)
- ・訓練日時も企業の要望に合わせて設定可能
- ・少人数からでも利用できるオープンコースも実施しています

受講しやすい料金設定

- ・受講料は1人あたり2,200円～6,600円(税込)
- ・条件を満たす場合は人材開発支援助成金の利用が可能

※予算に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。
※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

訓練受講までの流れ



担当者が企業訪問し、人材育成の課題や方策を整理します。



相談内容を踏まえ、課題やニーズに応じた訓練を提案します。



期日までに受講料の支払い等の手続きを行い、訓練受講となります。

A：生産・業務プロセスの改善

生産管理	048	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上
	001	生産性分析と向上
	002	生産現場の問題解決
	003	生産性向上のための課題とラインバランス
	004	生産計画と工程管理
	005	サービス業における I E 活用
	006	原価管理とコストダウン
	DX 007	在庫管理システムの導入
	008	購買・仕入れのコスト削減
DX 009	P O S システムの活用技術	
品質保証	010	品質管理基本
	011	品質管理実践
	053	サービスマネジメントによる品質改善と向上
流通・物流	DX 015	3 P L と S C M
	DX 016	物流の I T 化
	DX 013	流通システム設計
	DX 014	物流システム設計
	DX 012	卸売業・サービス業の販売戦略
	DX 017	S C M の現状と将来展望
	DX 018	クラウド活用入門
IT	DX 019	I o T 活用によるビジネス展開
	DX 020	クラウドを活用したシステム導入
	DX 021	I o T 導入に係る情報セキュリティ
	DX 054	クラウドを活用した情報共有能力の拡充
	DX 087	導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用
	DX 083	テレワークを活用した業務効率化
	DX 088	テレワーク活用
	DX 056	I T ツールを活用した業務改善
	DX 089	データ活用で進める業務連携
	DX 090	失敗しない社内システム導入
	DX 091	企業内で I T 活用を推進するために必要な技術理解
	DX 092	企業内で I T 活用を推進するために必要なマネジメント
DX	DX 117	DX (デジタルトランスフォーメーション) の導入
	DX 118	ベンダーマネジメント力の向上
	DX 093	I T 新技術による業務改善
	DX 094	A I (人工知能) 活用
	DX 095	ビッグデータ活用
	DX 055	R P A を活用した業務効率化・コスト削減
	DX 096	R P A 活用
	DX 119	DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進
	DX 120	データサイエンス入門
	037	企業価値を上げるための財務管理

B：横断的課題

組織マネジメント	DX 022	IoTを活用したビジネスモデル
	084	ダイバーシティ・マネジメントの推進
	DX 121	ビジネスとSDGs (持続可能な開発目標) の融合
	038	事故をなくす安全衛生活動
	023	個人情報保護と情報管理
	064	高齢労働者のための安心・安全な職場環境の構築
	039	リスクマネジメントによる損失防止対策
	059	災害時のリスク管理と事業継続計画
	DX 040	e ビジネスにおけるリーガルリスク
	DX 057	ネット炎上時のトラブル対応
	024	ナレッジマネジメント
	025	知的財産権トラブルへの対応 (1)
	026	知的財産権トラブルへの対応 (2)
	058	現場社員のための組織行動力向上
	041	業務効率向上のための時間管理
	062	顧客満足度向上のための組織マネジメント
	060	企画力向上のための論理的思考法
	042	成果を上げる業務改善
	043	組織力強化のための管理
061	職場のリーダーに求められる統率力の向上	
051	管理者のための問題解決力向上	
044	プロジェクト管理技法の向上	

組織マネジメント	052	プロジェクトマネジメントにおけるリスク管理	
	065	継続雇用者のキャリア形成と管理者の役割	
	085	従業員満足度の向上	
	086	ストレスチェック制度を用いた職場環境改善と生産性向上	
	097	ムダを発見するための業務プロセスの見える化と業務改善	
	DX 122	テレワーク業務における労務管理	
	DX 126	DX人材育成の進め方	
	127	物流現場のリーダー育成	
	128	ファシリテーションを活用した合意形成の効率化	
	生涯キャリア形成	066	中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成
		067	チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割
		068	後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
069		中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法	
070		S N S を活用した相談・助言・指導	
071		フォロワーシップによる組織力の向上	
072		経験を活かした職場の安全確保 (未然防止編)	
073		経験を活かした職場の安全確保 (対策編)	
074		クラウドを活用したノウハウの蓄積と共有	
075		職業能力の整理とノウハウの継承	
076		職業能力の体系化と人材育成の進め方	
077		経験に基づく営業活動の見える化と継承	
078	効果的な O J T を実施するための指導法		
079	ノウハウの継承のための研修講師の育成		
080	作業手順の作成によるノウハウの継承		
081	若手従業員に気づきを与える安全衛生活動 (実施編)		
082	若手従業員に気づきを与える安全衛生活動 (点検編)		

C：売上げ増加

営業・販売	049	提案型営業手法	
	063	ビジネス現場における交渉力	
	050	提案型営業実践	
	DX 027	マーケティング志向の営業活動の分析と改善	
	DX 028	統計データ解析とコンセプトメイキング	
	DX 123	オンライン営業技術	
	DX 029	顧客分析手法	
	DX 045	顧客満足向上のための C S 調査とデータ分析	
	マーケティング	030	実務に基づくマーケティング入門
		031	マーケティング戦略概論
032		マーケット情報とマーケティング計画 (調査編)	
033		マーケット情報とマーケティング計画 (販売編)	
DX 046	インターネットマーケティングの活用		
企画・商品開発	034	製品・市場戦略	
	035	新サービス・商品開発の基本プロセス	
	DX 036	プロモーションとチャネル戦略	
DX 047	チャンスをつかむインターネットビジネス		

D：IT業務改善

ネットワーク	DX 098	ワイヤレス環境に必要な無線LANとセキュリティ
	DX 099	社内ネットワークに役立つ管理手法
データ活用	100	表計算ソフトを活用した業務改善
	101	業務に役立つ表計算ソフトの関数活用
	102	表計算ソフトを活用した効果的なデータの可視化
	DX 103	効率よく分析するためのデータ集計
	DX 104	ピボットテーブルを活用したデータ分析
	DX 105	品質管理に役立つグラフ活用
	DX 106	表計算ソフトを活用した統計データ解析
	107	表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
	DX 108	データベースを活用したデータ処理 (基本編)
	DX 109	データベースを活用したデータ処理 (応用編)
	DX 110	データベースを活用した高度なデータ処理
111	業務効率を向上させるワープロソフト活用	
情報発信	112	相手に伝わるプレゼン資料作成
	113	集客につなげるホームページ作成
	DX 114	S N S を活用した情報発信
	DX 124	オンラインプレゼンテーション技術
セキュリティ	DX 115	脅威情報とセキュリティ対策
	DX 116	情報漏えいの原因と対応・対策
	DX 125	テレワークに対応したセキュリティ対策

※ 「DX」を付している訓練コースは、DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進に必要な知識・技能を習得するための訓練コースです。

ミドルシニアコースのご案内

～70歳までの就業機会確保にむけた従業員教育を支援しています～

人材不足の深刻化や技術革新が進展する中、中小企業等が事業展開を図るためには、70歳までの就業機会の確保に向けて、企業を支えるミドルシニア世代の役割の変化へ対応できる能力や技能・ノウハウを継承する能力を育成することが重要です。令和2年度から「ミドルシニアコース」を開始し、中高年齢層の従業員の“生涯キャリア形成”を支援しています。

コース概要

- ・ミドルシニア層が持つ技術やノウハウを見える化したい。
- ・技能継承の指導者の「教える」スキルを向上させたい。
- ・ミドルシニアの従業員を講師とし、研修会を開催したい。

- ・ミドルシニア層に今後のキャリアを考えさせたい。
- ・ミドルシニア層に組織での役割を理解させたい。
- ・経験を活かした後輩への指導法を学ばせたい。



- 受講対象者
45歳以上の従業員の方
- 受講料 (1人あたり・税込)
3,300円～6,600円
- 訓練日数
概ね1～5日間
(6～30時間)
- 訓練会場
自社会議室等を会場とすることが可能です。
(講師を派遣します)

『ミドルシニアコース』で課題を解決!



分野・コース

役割の変化への対応

訓練内容

- ・中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成
- ・後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
- ・SNSを活用した相談・助言・指導
- ・フォローアップによる組織力の向上 など



技能・ノウハウ継承

訓練内容

- ・クラウドを活用したノウハウの蓄積と共有
- ・作業手順の作成によるノウハウの継承
- ・効果的なOJTを実施するための指導法
- ・ノウハウの継承のための研修講師の育成 など



※予算に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。
※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

訓練受講までの流れ

課題や方策の整理

担当者が企業訪問し、人材育成の課題や方策を整理します。

訓練コースのコーディネート

相談内容を踏まえ、課題やニーズに応じた訓練を提案します。

訓練の実施

期日までに受講料の支払い等の手続きを行い、訓練受講となります。

事業主推薦制度のご案内

事業主推薦制度は、事業主からご推薦いただいた従業員の方々を対象とした入校試験制度です。

港湾短大神戸校の港湾流通科・港湾技術科では、将来、港湾・貿易・物流分野で活躍する方々に当校の高度な教育訓練をご受講していただき、生産性向上に取り組む企業の人材育成を応援します。

【企業の人材育成ニーズ】

- ☑ 高校を卒業した社員にじっくりと教育訓練を受けさせたい!
- ☑ 若手・中堅社員に実践的な知識と技術を身につけさせたい!
- ☑ 将来、現場の責任者となるような人材を育てたい!



社員を港湾職業能力開発短期大学校神戸校(略称：港湾短大神戸校)へ

港湾流通科



取得可能な資格や免許

- 貿易実務検定 ● 通関士
- STC Associate(安全保障輸出管理実務能力認定試験)初級
- ビジネス・キャリア検定/3級ロジスティクス・オペレーション
- ビジネス・キャリア検定/3級ロジスティクス管理
- Microsoft Office Specialist(Excel)
- フォークリフト運転技能講習※1 ● 玉掛け技能講習※2

港湾技術科



取得可能な資格や免許

- フォークリフト運転技能講習※1 ● 玉掛け技能講習※2
- 移動式クレーン運転士免許
- クレーン・デリック運転士免許(クレーン限定)
- 大型特殊自動車運転免許
- 揚貨装置運転士免許

詳細は、港湾職業能力開発短期大学校神戸校
(略称:港湾短大神戸校)

港湾短大神戸校 学務課 (078-303-7326) にお問い合わせください。

もて・みで・チャレンジ!
港湾短大

港湾短大神戸校

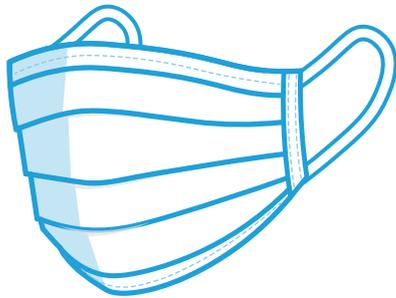
検索

※1 兵庫労働局長登録教習機関第200号

※2 兵庫労働局長登録教習機関第201号

新型コロナウイルス感染症対策実施中

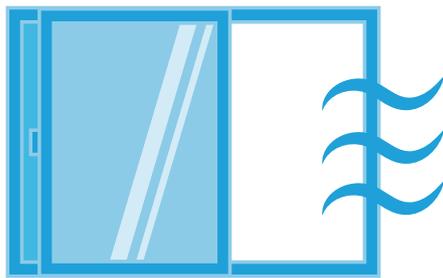
港湾短大神戸校では新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下の取り組みを行っています。



職員のマスク着用



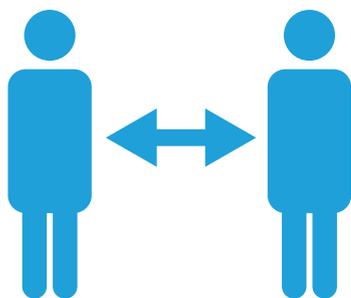
アルコール除菌



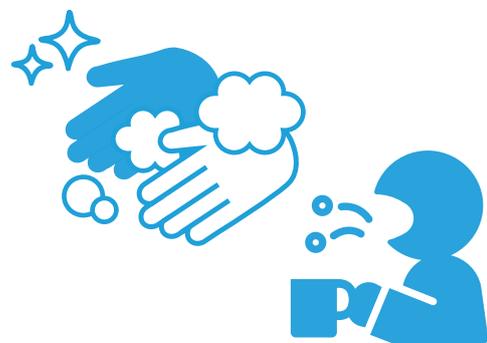
定期的な換気



体調・体温チェック



密接にならない距離



うがい手洗いの励行



港湾短大神戸校

(港湾職業能力開発短期大学校 神戸校)

〒650-0045

兵庫県神戸市中央区港島8-11-4

TEL：078-303-7326 (学務課)

FAX：078-303-7335

メール：kobe-college03@jeed.go.jp

ホームページ：https://www3.jeed.go.jp/hyogo/college/

アクセス

■公共交通機関でお越しの方



○ポートライナー(神戸新交通)

- ・「神戸空港」駅行乗車、「医療センター」駅下車徒歩約10分
- ・「北埠頭」駅行乗車、「南公園」駅下車徒歩約15分



○神姫バス

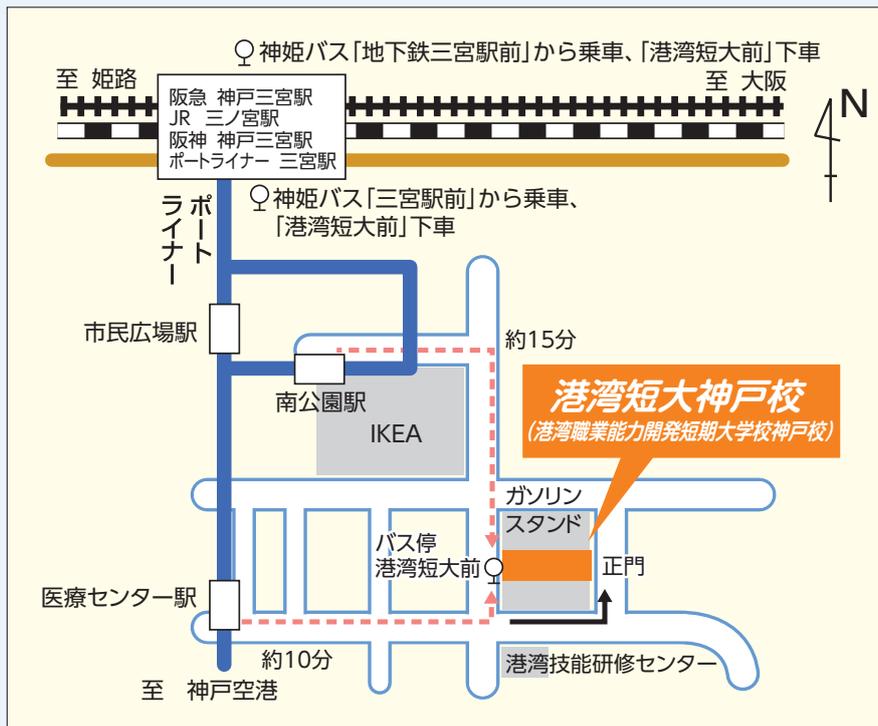
- ・「三宮駅前」…神戸阪急(旧そごう神戸店)の北側、(ポートアイランド方面のバス)Y5番乗り場から乗車、「コンテナターミナル行」乗車、「港湾短大前」下車すぐ
- ・「地下鉄三宮駅前」…JR三ノ宮駅中央口の北側、(神戸空港方面のバス)N4番乗り場から乗車、「港湾短大前」下車すぐ
注)バスをご利用される場合はご乗車前に「港湾短大前」バス停に停車するかどうかのご確認をお願いします。

■お車でお越しの方



- ・地図黒色線に従って、次の曲がり角で左折する。

※約100mで当校正門となります(駐車場あり)



在職者訓練受講者変更・キャンセル届

港湾短大神戸校

あて

(港湾職業能力開発短期大学校神戸校)

FAX 078-303-7335

年 月 日

● お申込ご担当者の連絡先をご記入ください。

(個人でお申し込みの場合は日中ご連絡がとれる電話番号をご記入ください)

会社名		電話番号	
申込担当者 (部署名)	(氏名)	FAX番号	

● 該当する届け出の□にチェックをして、必要事項をご記入ください。

下記のコースに申込みましたが、都合により下記のとおりキャンセルいたします。

コース番号	コース名	開始日	受講者氏名	受講料
		月 日		<input type="checkbox"/> 未振込 <input type="checkbox"/> 振込済 (振込日 月 日)
		月 日		<input type="checkbox"/> 未振込 <input type="checkbox"/> 振込済 (振込日 月 日)
		月 日		<input type="checkbox"/> 未振込 <input type="checkbox"/> 振込済 (振込日 月 日)

(注意) コース開始日の14日前(土日・祝日含む)を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきます。
お電話でのご連絡後、必ずこの届をFAXで送付願います。

下記のとおり、受講者の変更をいたします。

コース番号	コース名	開始日	ふりがな	ふりがな	生年月日 (西暦)
			受講者名 (変更前)	受講者名 (変更後)	
		月 日			
		月 日			
		月 日			

ご記入いただいた情報は在職者訓練の受講に関する事務処理(受講者変更・キャンセル)にご利用させていただきます。

お問い合わせ先

港湾短大神戸校 (港湾職業能力開発短期大学校神戸校)

学務課 TEL 078-303-7326 FAX 078-303-7335

〒650-0045 神戸市中央区港島8-11-4

在職者訓練受講申込書

港湾短大神戸校 へて
(港湾職業能力開発短期大学校神戸校)

FAX 078-303-7335

在職者訓練について、下記のとおり申し込みます。

年 月 日

記入例

コース番号	コース名	コース開始日	フリガナ		生年月日 (西暦)	就業状況※1	備考
			受講者氏名				
C411	機械設計のための総合力学	●月●日	コウワン	タロウ	19●●年 ●月●日	① 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	機械設計業務 8年
						1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
						1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
						1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
						1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
						1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	

- ※1 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
- 応募者が少ない場合はコースを中止させていただく場合があります。また、やむを得ず日程を変更する場合がありますので予めご了承ください。
 - 受講料は、消費税込みです。なお、振込手数料は別途ご負担ください。
 - コース開始日14日前(土日祝日含む)を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただけます。
 - 納入された受講料を他のコースへ振り替える(流用)ことはできません。
 - セミナーを実施するうえでの参考とさせていただくため、お申込みされたコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差支えない範囲で備考欄にご記入ください(例: 切削加工作業に約5年間従事)。

受講区分(該当に☑印)	
<input type="checkbox"/> 会社	<input type="checkbox"/> 個人

●「個人」でお申込みの方は「(2)個人でお申込みの場合」の欄に必ずご記入をお願いします。

(1) 会社からの指示による受講の場合

貴社名	所属団体名		
ご連絡先	下記ご住所に受講票・請求書等をお送りします。また受講にあたってのご連絡はご担当者様あてにいたしますので必ずご記入ください。		
	会社ご住所 〒 -	所属部署名	
	ご担当者名		
	TEL	FAX	メール
企業情報 該当に☑印	業種 <input type="checkbox"/> 金属製品製造業 <input type="checkbox"/> 非鉄金属製造業 <input type="checkbox"/> 一般機械器具製造業 <input type="checkbox"/> 電気機械器具製造業 <input type="checkbox"/> 電子部品・デバイス・電子回路製造業 <input type="checkbox"/> その他製造業 () <input type="checkbox"/> 情報通信業 <input type="checkbox"/> 建設・設備工事業 <input type="checkbox"/> 卸売業・小売業 <input type="checkbox"/> その他 ()		社員数 <input type="checkbox"/> 1~29人 <input type="checkbox"/> 30~99人 <input type="checkbox"/> 100~299人 <input type="checkbox"/> 300~499人 <input type="checkbox"/> 500~999人 <input type="checkbox"/> 1000人以上

● 会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケートへのご協力をお願いしております。

(2) 個人でお申込みの場合(受講書類、請求書等は下記のご住所にお送りいたします)

ご連絡先	お名前	ご住所 〒 -	
	TEL	FAX	メール

【個人情報の取扱いについて】

※独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
ご記入いただいた個人情報は在職者訓練の受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の在職者訓練や関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

機構 使用欄	処理D	処理E	返信	処理S
/	/	/	/	/

※訓練内容あるいは安全面などご不明な点がございましたらあらかじめご連絡ください。
※受講可否につきましては、ご記入していただきましたFAX番号宛にご回答を送付いたします。